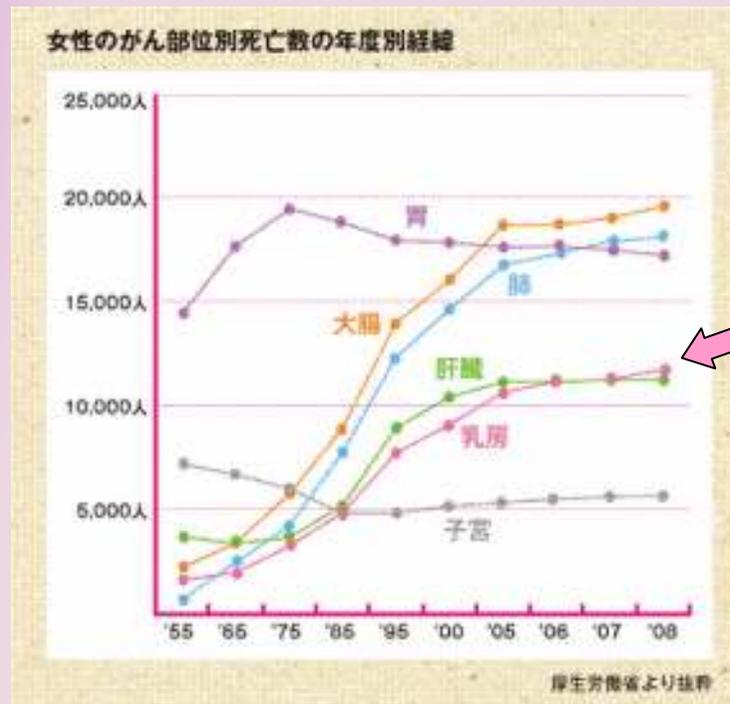


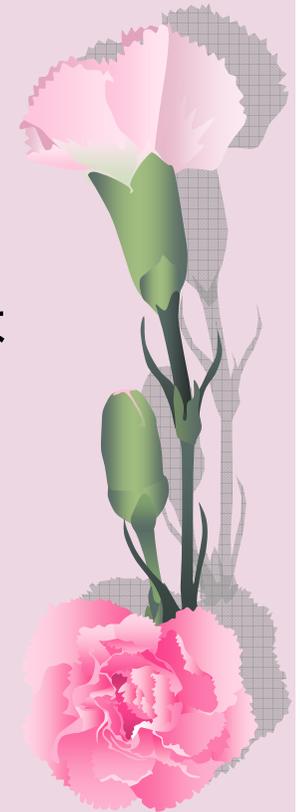
# 乳がんについて

## 🌸 壮年期女性のがん死亡原因のトップ

今、日本女性の**16人に1人**が乳がんになるといわれています。  
なくなる人は年々増加し、今では1年間に約1万2千人。ここ30年の乳がんの急激な増加は、食生活やライフスタイルの変化がエストロゲン(女性ホルモン)の分泌に影響しているためとみられています。

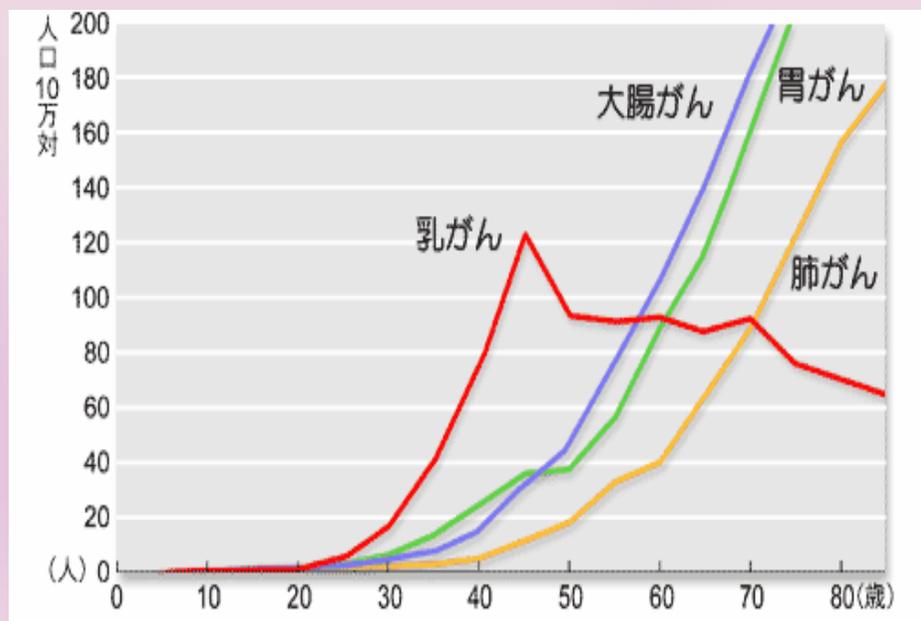
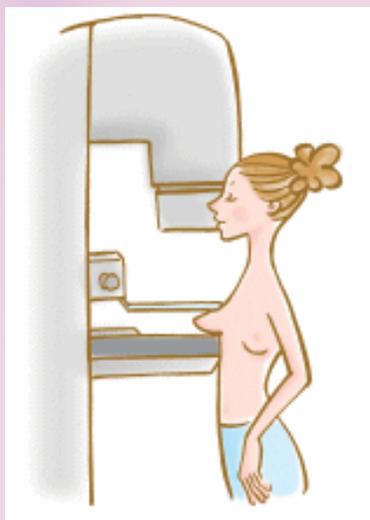


乳がんによる死亡者数は年々増加しています

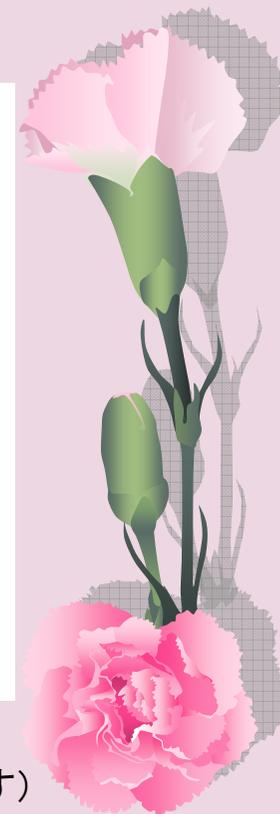


## 🌸 もっとも乳がんにかかりやすいのは40代

「乳がんはまだ私には関係ない」と思っていませんか？乳がんにかかる人は30代から40代にかけて急増します。**ピークは40代後半**。「閉経後は大丈夫」「50歳すぎたら乳がんにならない」ということはありません。まだ、若いからといって油断は出来ません。家族や親戚に乳がんがない、出産・授乳経験があるから大丈夫、ということもいえません。乳がんにならないといえる人は一人もいないのです。



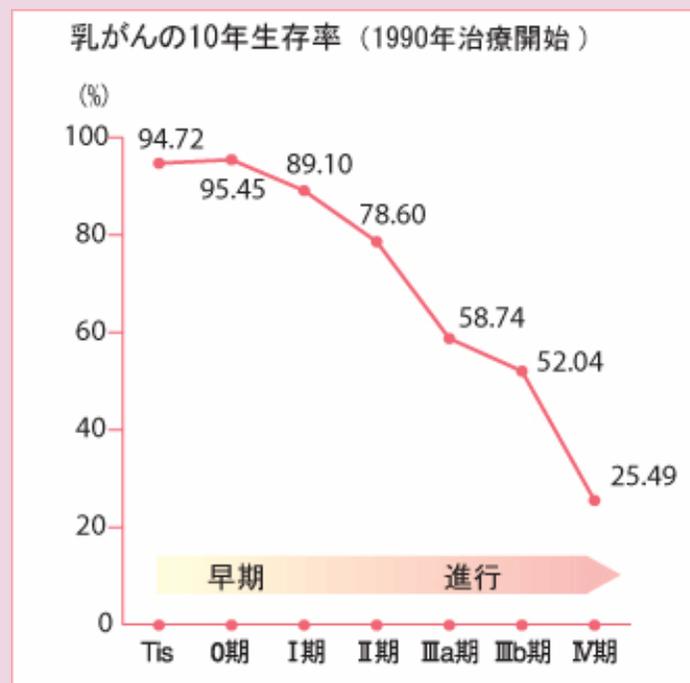
年齢別がんのなりやすさ  
(乳がんは他のがんと違い若い人でもなりやすいがんです)



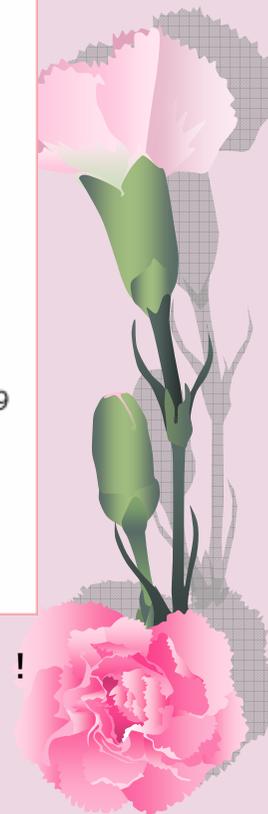
## 🌸 早期なら約約90%が治癒します

残念ながら、現在乳がんの予防法はありません。しかし早期発見であれば**約90%の人が治癒**します。決して怖い病気ではありません。**早期発見**のためにセルフチェックや検診が大切なのです。

自分で触れて気になるしこりがある場合、あるいは気になる**症状がある**場合は検診を待たずに**乳腺専門の医療機関**を受診し、診察を受けてください。

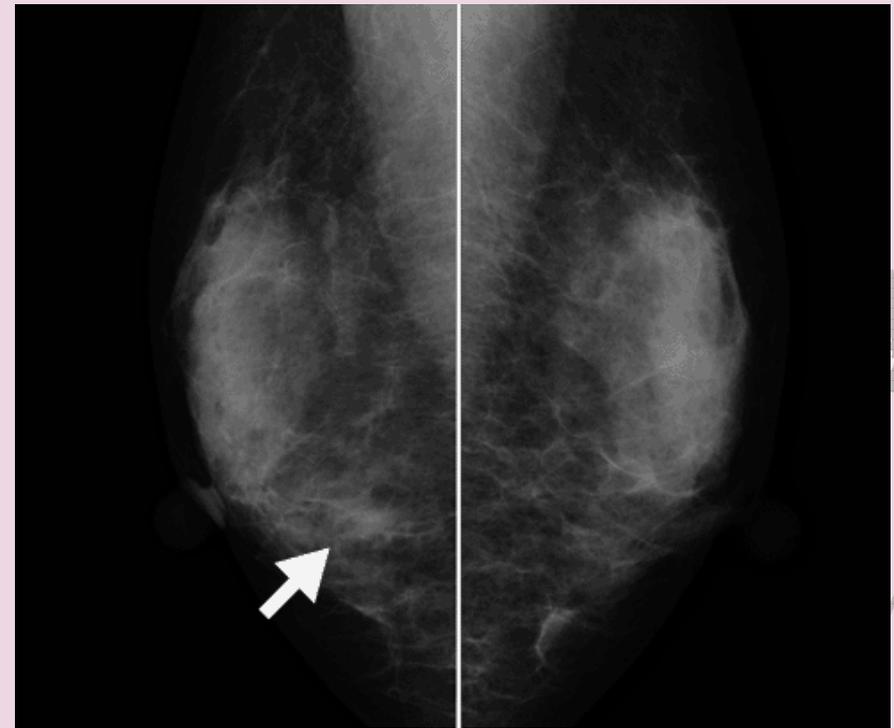


早期の乳がんほど10年生存率は高い！！



# マンモグラフィは早期乳がんを見つける 乳房専用X線撮影です。

- マンモグラフィは乳がんをはじめ乳房に出来る病気のほとんどを見つけることができます。(全てのがんが見つかるわけではありません)しこりとしてふれることができない早期乳がんも発見できます。



実際のマンモグラフィ  
(矢印の白く写っているところが乳がんです)

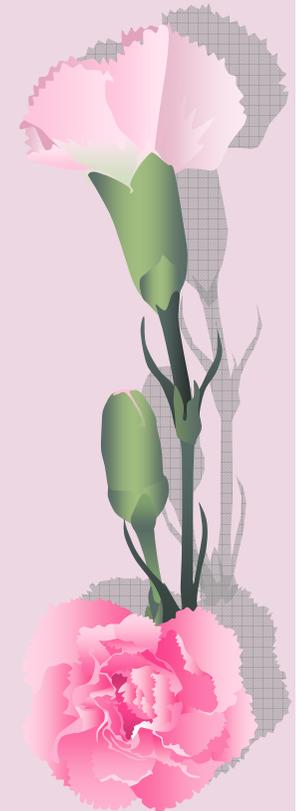


# マンモグラフィ撮影

- ❁ 通常の検査にかかる時間は15～20分程度です。
- ❁ マンモグラフィでは乳房を圧迫板ではさみます。
- ❁ 撮影技師が乳房を正しい位置にはさみ撮影します。
- ❁ 乳房は左右片方ずつ撮影します。通常片方で1枚または2枚ずつ撮影します。  
(場合により追加撮影を行うことがあります)



マンモグラフィ撮影方法  
上下(CC)や斜め(MLO)から圧迫する撮影法があります。



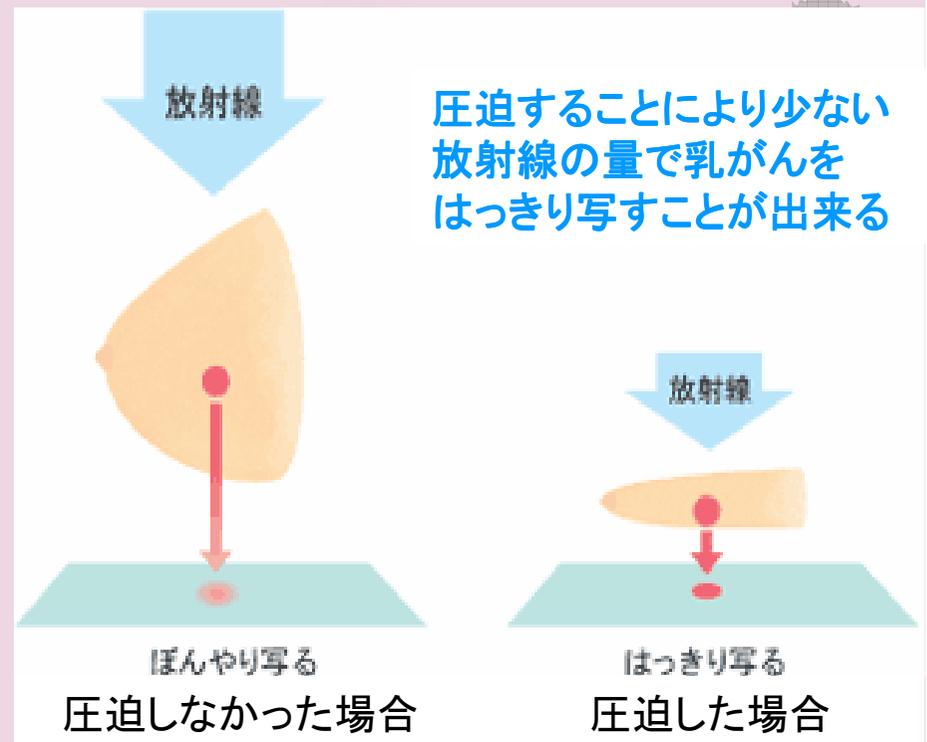
# 「圧迫」について

## マンモグラフィでは乳房を圧迫板ではさみます

立体的で厚みのある乳房をそのまま撮影すると乳腺や脂肪、血管などが重なり、乳がんがあっても写真に写し出されないことがあります。そのためマンモグラフィでは、乳房を**圧迫板で平たく押さえて撮影します**。圧迫は診断に必要なよい写真を撮るためにも重要なことです。また、撮影に必要な**放射線の量を少なくする効果**もあります。少ない放射線の量でよい写真を撮るためにご協力をお願いします。

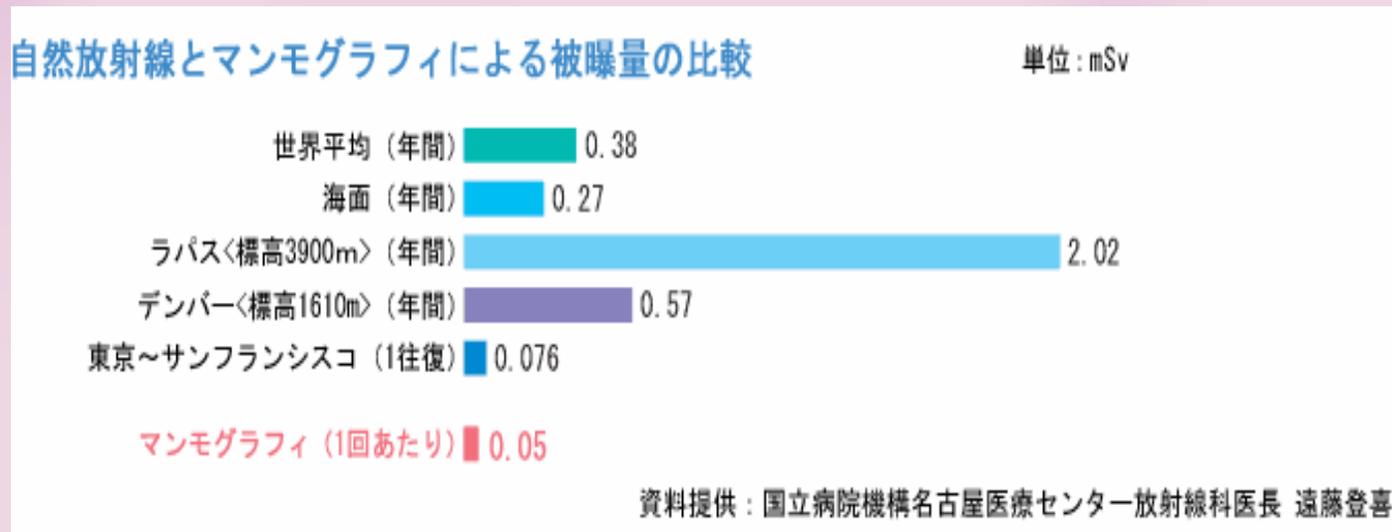
**我慢できないほど強い痛みを感じたときは無理をせず一度撮影技師にお伝えください。撮影に支障がない範囲で配慮いたします。**

**※十分に乳房をひき出し、圧迫するためにも撮影時は体の力を抜いてなるべくリラックスしてください。**

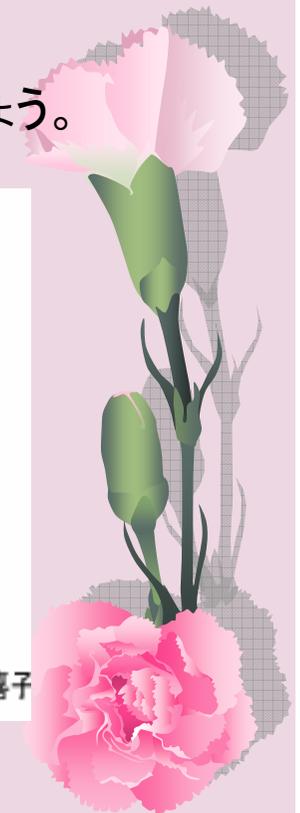


# 被曝について

- マンモグラフィはX線検査なので放射線被曝がありますが、乳房だけの部分的なもので、骨髄などへの影響はなく白血病などが発生する危険はありません。私たちは普通に生活する中でも自然界に存在する物質から出る放射線(自然放射線)や宇宙から降り注ぐ放射線(宇宙線)などわずかな放射線を浴びています。飛行機で東京からサンフランシスコを往復するときに浴びる放射線の量とマンモグラフィ検査による放射線の量はほぼ同じです。そのためマンモグラフィ検査による危険性はほとんどないと言ってよいでしょう。



マンモグラフィで浴びる放射線の量は東京~サンフランシスコを往復したときとほぼ同じです





## 気になること、わからないことがある場合は 遠慮なくお問い合わせください

- ❁ 正しい撮影をするために、撮影技師がポジショニング（撮影機械に乳房をはさんで、圧迫した体位をとる）を行いますので、どうぞご協力お願いします。
- ❁ 以前に受けた手術や傷跡、いぼ、ほくろなど、またご自分で気づかれたしこりがありましたら撮影技師にもお伝えください。正しい撮影と診断に非常に役に立ちます。
- ❁ **妊娠中の方**はお知らせください。放射線感受性の高い胎児への被曝を最小限にするために、検査方法などを検討させていただくことがあります。

